

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年9月10日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年9月10日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【増設多核種除去設備の新吸着材の発泡に伴う運転停止について】 増設多核種除去設備(A)に新吸着材を装荷し、試験運転を実施したところ、系統内各タンクで発泡による水位上昇が発生し、運転停止に至った。 発泡の影響のないタンクを使用し、運転可能な増設多核種除去設備(B)の運転を再開。 今後、新吸着材の抜き出しおよび内包水の排水を行う予定。	G II	9月4日
2	【1号機工所用仮設電源ケーブルの誤配線による地絡発生について】 1号機 建屋内滞留残水排水設備の設置工事において、ボーリング作業を行なうために、工所用の仮設分電盤からボーリング作業エリアまで電源ケーブルを延長して、ボーリングマシンの電源を投入したところ、ケーブルの誤配線により地絡が発生した。 現在、改修済み。	G III	9月6日